

# 基礎分野

人間と生活・社会の理解

授業科目	生物学	開講年次	単位	時間	必修	担当者	授業科目	生命倫理	開講年次	単位	時間	必修	担当者
		1年次	1	15		佐々木瑞希			2年次	1	15		紺野 圭太 木村 陽
学習目標	生物学的存在としての人間の身体の仕組みの基本を理解する。人間の生態、生殖、遺伝と発生を学び、人間のシステムとしての生命活動や基礎的知識を学ぶ。高校における基本生物学の復習である。						学習目標	生命と生命倫理に関する様々なテーマを学び、看護の専門職業人として必要な生命倫理に関する知識を身につけるとともに、自分自身の問題として考える態度を養う。					
回数	授業計画・授業内容				授業方法	講師/実務経験	回数	授業計画・授業内容				授業方法	講師/実務経験
1	生物学導入				講義	佐々木瑞希 帯広畜産大学 実務経験：無	1	生命とは、生命倫理とは医療と様々な倫理的問題				講義	紺野 圭太 医師 帯広刑務所 実務経験：有 【試験配点】 70点
	生物の分類						2	生殖医療と倫理的問題					
	細胞 生物の基本単位としての細胞						3	先端医療と倫理的問題					
2	生物を構成する物質						4	臓器移植と倫理的問題					
3	遺伝① 遺伝情報の入れ物とその複製						5	尊厳死・安楽死と倫理的問題					
4	遺伝② 遺伝情報の発現（転写・翻訳）						6	終末期における倫理的問題① 終末期医療や緩和医療・ホスピスなどにおける医療とケア・看取り				講義	木村 陽 医師 帯広厚生病院 実務経験：有 【試験配点】 30点
5	細胞の一生 細胞増殖と細胞死						7	終末期における倫理的問題② 選択的治療と意思決定 ACP					
6	生物個体としての生殖・発生・分化						8	試験					
7	バイオテクノロジーと医療												
8	試験												
テキスト	生物学/医学書院						テキスト	医療概論／医学書院 看護倫理／医学書院 講師作成資料					
評価方法	試験						評価方法	課題レポート及び試験					
先修条件	なし						先修条件	なし					

# 基礎分野

## 人間と生活・社会の理解

授業科目	心理学	開講年次	単位	時間	必修	担当者	授業科目	生活科学	開講年次	単位	時間	必修	担当者
		1年次	1	30		岡部 康成			1年次	1	30		正保里恵子
学習目標	患者や看護師、医師など看護に関わる人間の心理や行動を理解するための知識と態度を身につけることを目的として、心理学、特に学習心理学、社会心理学の中から、看護の現場に関連する知見について解説を行う。						学習目標	生活とは他の人と関わりながら生きることである。この科目では「衣・食・住」をはじめとする人間の生活を対象とし、社会や環境との関係性、個人の生活歴や価値観など幅広い視点の生活を捉え、看護の対象となる人の望む暮らしに向かって看護を実践するための基礎的知識を学ぶ。 1. 日常生活、日常性の意義を理解できる 2. 生活構造のとらえ方について理解できる					
回数	授業計画・授業内容			授業方法	講師/実務経験	回数	授業計画・授業内容			授業方法	講師/実務経験		
1	心理学とは	講義	岡部 康成 帯広畜産大学 実務経験：無	1	個人の生活の理解	講義	正保里恵子 保健師 帯広大谷短期 大学 実務経験：有						
2	健康や病気の理解			2	1) 日常生活と日常性								
3	自分の理解			3	2) 日常生活の構成要素								
4	他者の理解			4	3) 衣生活とは								
5	社会的影響 1			5	4) 食生活とは								
6	社会的影響 2			6	5) 住生活とは 住まいとは/住まいの文化/ ライフサイクルと住まい/ ユニバーサルデザイン								
7	コミュニケーション 1			7	生活構造のとらえ方								
8	コミュニケーション 2			8	援助者の生活の理解と把握								
9	対人関係			9	保健医療専門職の生活を捉える姿勢								
10	カウンセリング			10	個人生活と社会生活								
11	行動の変容			11	生活の水準・内容・様式、個別性								
12	リーダーシップと相談行動			12	ライフスタイル・生活様式と保健・医療・看護								
13	ヒューマンエラー			13	保健・医療・看護とQOL								
14	職業ストレスと対処行動			14	試験								
15	試験			15									
テキスト	講師作成資料						テキスト	ナーシンググラフィカ⑦健康と社会・生活/メディカ出版					
評価方法	筆記試験						評価方法	筆記試験					
先修条件	なし						先修条件	なし					

# 基礎分野

# 人間と生活・社会の理解

授業科目	社会学	開講年次	単位	時間	必修	担当者	授業科目	教育学	開講年次	単位	時間	必修	担当者		
		2年次	1	30		阿部 好恵			3年次	1	15		平舘 善明		
学習目標	<p>看護とは、社会の中で生活し、社会を構成するすべての人々を対象に、その健康の保持増進、また健康の回復と幸福な人生を支援する専門的な営みである。この科目では健康と社会についての理解を深め、豊かな看護の実践につなげるための基礎的知識を学ぶ。</p> <p>1. 社会学の基礎概念について理解できる                  2. 健康・病気と社会との関わりを理解できる                  3. 家族をとりまく社会の仕組みについて理解できる</p>						学習目標	<p>人間の成長についての教育の意義と機能を理解し、人間の可能性と自己啓発の態度を学ぶ。社会的存在としての人間理解の基礎となる科目として位置づける。看護において対象に必要な指導や教育を実践するための先行科目として教育の基本について、演習を取り入れながら学ぶ。</p>							
回数	授業計画・授業内容					授業方法	講師/実務経験	回数	授業計画・授業内容					授業方法	講師/実務経験
1	社会学の基礎概念 社会学とは/社会を構成する単位/制度					講義	阿部 好恵 帯広大谷短期大学 実務経験：無	1	1. 人間と教育 1) 人間の成長と教育の意義 2) 教育の目的					講義 演習	平舘 善明 帯広畜産大学 実務経験：無
2	社会学的視点とモデル							2	2. 教育の体系 1) 家庭教育						
3	健康・病気・ストレスの新しい見方と捉え方							3	2) 学校教育の制度 3) 生涯学習支援の社会教育						
4	保健医療の専門職							4	3. 教育の方法 1) 学習指導						
5	地域社会とヘルスプロモーション コミュニティとは/ヘルスプロモーションにおける地域							5	2) 生活指導（生徒指導） 3) 特別支援教育の推進						
6	地域の保健力 ノーマライゼーションと地域							6	4. 教育心理						
7	「働き方」「働かせ方」と健康・病気							7	5. 専門職者としての資質 1) 豊かな人間性（①豊かな人格 ②教育愛 ③使命感） 2) 専門的実践力（①カウンセリング力 ②討議力 ③情報処理力） 3) 自己啓発意欲（自己実現のライフスタイル）						
8	社会調査の理論と技法							8	試験						
9	健康・病気行動と病経験														
10	健康・病気の社会格差														
11	性別・性差とは ジェンダーと性/ケア役割/健康														
12	結婚と家族 結婚とは/家族とは/家族構造														
13	家族の役割・機能														
14	現代の家族とその課題														
15	試験														
テキスト	社会学/医学書院						テキスト	教育学/医学書院 講師作成資料							
評価方法	筆記試験						評価方法	レポート・筆記試験・学習状況							
先修条件	なし						先修条件	なし							

# 基礎分野

人間と生活・社会の理解

授業科目	英 語	開講年次	単位	時間	必修	担当者	授業科目	コミュニケーション論	開講年次	単位	時間	必修	担当者		
		3年次	1	30		マーシャル・スミス			1年次	1	30		小川 進		
学習目標	国際化している医療において、国際言語である英語でコミュニケーションがとれ、目的に応じた会話表現の発話方法をの基礎を学ぶ。医療の実際場面を想定し、外国人講師による自然な英語を聞きながら、英語の活用方法を学ぶ。						学習目標	人と関係を築く上で基盤となるコミュニケーションについての基本的知識について理解する。その上で医療臨床で必要となるコミュニケーションに関する知識と技術を、演習を通し身につける。							
回数	授業計画・授業内容					授業方法	講師/実務経験	回数	授業計画・授業内容					授業方法	講師/実務経験
1	Emergency Department - Reception Desk					講義	マーシャル・スミス 帯広畜産大学 実務経験：無	1	コミュニケーションとは 基本的知識の理解 医療コミュニケーションの理解					講義 演習	小川 進 こころボ代表 実務経験：有
2	Examination Room							2	人間関係論を知る 自己認知と対人認知 援助者として話を聴く・傾聴とは 対人関係を知る						
3	Giving Injections							3	聴き手に必要となる基本的態度 受容・共感・自己一致						
4	Explanation to a Family Member							4	臨床で必要となる心理学知識① 態度と対人行動						
5	Meeting the Patient - Self - introduction							5	傾聴トレーニング						
6	Orientation to the Ward							6	臨床で必要となる心理学知識② 集団と個人						
7	Asking Height, Weight and Temperature							7	傾聴トレーニング						
8	Obtaining the Patient's History							8	コミュニケーションスキル① コーチング・理論と技法						
	General Care of Patient - Checking the Patient's Condition							9	コミュニケーションスキル② アサーティブコミュニケーション 理論と技法						
	Blood Test Explanation							10	保健医療チームの人間関係 チーム医療と看護師の役割						
	Drawing a Blood Sample							11	チームワークとチームエラー						
	Operation Orientation - Basic Procedures							12	患者様を支える人間関係 様々な患者・医療者関係を知る						
	Explaining about the Operation - Anesthesia							13	よりよい看護実践のために必要なこと						
	Taking the Patient into Surgery							14	カウンセリングと心理療法を知る						
	試験							15	試験						
テキスト	Essential English for Nurses／日総研						テキスト	人間関係論/医学書院 講師作成資料							
評価方法	Attendance, Class Participation, Homework, Quizzes and Final Exam						評価方法	レポート試験							
先修条件	なし						先修条件	なし							

# 基礎分野

人間と生活・社会の理解

授業科目	人間関係論	開講年次	単位	時間	必修	担当者	授業科目	健康科学	開講年次	単位	時間	必修	担当者		
		1年次	1	15		渡邊 舞			2年次	1	15		角谷 里佳		
学習目標	集団や組織の中における、自分と他人の違いを理解し、問題解決に向えるためのコミュニケーションについて、演習をとおして体験し学ぶ。						学習目標	日常生活を送る上で、自己及び身近な他者が健康であり続けるために必要な知識を習得し、理解を深めることができる。							
回数	授業計画・授業内容					授業方法	講師/実務経験	回数	授業計画・授業内容					授業方法	講師/実務経験
1	「人間関係で感じる葛藤やトラブルを体験しよう」 ・同調行動 ・社会的ジレンマ  「グループで協力して課題を解決しよう」 「グループの中で理想的なリーダーになろう」 ・コミュニケーションネットワーク ・リーダーシップ  「人間関係と健康について考えよう」 ・ストレスの理論 ・ソーシャルサポート					講義 演習	渡邊 舞 豊岡短期大学 実務経験：無	1	健康の概念 健康に関する行動					講義	角谷 里佳 保健師 帯広保健所 実務経験：有
2								生活行動や習慣に関すること（1） 栄養・運動・休養（睡眠）							
3								生活行動や習慣に関すること（2） 喫煙・飲酒							
4								健康管理に関すること 健康診査・がん検診・健康相談							
5								人の繋がりで起きる健康問題 性感染症・DV・他者との関係・ストレスケア							
6								地域の力と健康 プライマリヘルスケア ヘルスプロモーション							
7								保健行政の役割と保健師の活動 保健サービス 信頼性の高い健康情報							
8								試験							
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															
テキスト	講師作成資料						テキスト	講師作成資料							
評価方法	出席状況と試験結果の総合評定						評価方法	出席状況、態度、試験の総合評価							
先修条件	なし						先修条件	なし							

## 基礎分野

## 人間と生活・社会の理解

授業科目	法 学	開講年次	単 位	時 間	必修	担当者
		3年次	1	15		武部 雅充
学習目標	<p>私達の生活や暮らしを守る法律について学ぶ。            法学の基本的な考え方（リーガルマインド）、法学を通じ、思考能力を高め、社会制度を見る目を養うことを目標とします。</p>					
回数	授業計画・授業内容				授業方法	講師/実務経験
1	法学総論 「法」とは何か 社会と法律				講義	武部 雅充 弁護士 武部雅充 法律事務所 実務経験：有
2	日本国憲法 法の下での平等/個人の尊厳 /生存権					
3	政治と法律					
4	医事法総論 1 医療事故をめぐる問題					
5	人の出生に関わる諸問題 人体組織と遺伝子・性の決定をめぐる 問題					
6	脳死問題と臓器移植について					
7	終末期医療について					
8	試験					
テキスト	健康支援と社会保障制度 [4]看護関係法令/医学書院					
評価方法	出席状況、筆記試験の総合評価					
先修条件	なし					